

## ハワイ州マウイ郡政府および主要関係者が災害研と東日本大震災津波被災地を訪問しました（2024/5/20-23）

テーマ：災害対策、都市計画、国際協力

会場：災害科学国際研究所、宮城県および福島県の津波被災地、東京都

2023年8月にアメリカ・ハワイ州マウイ島で発生した山火事は、急速に広がりました。この山火事は、ハワイの歴史上最も致命的な、またアメリカ国内でも5番目に致命的な山火事災害とされています。日本外務省の資金提供と米日カウンシルの主導により、日本特に東北のコミュニティが近年の災害からどのように復興・再建したかを学ぶため、ハワイ代表团（マウイ郡のリチャード・ピセン市長、ハワイ大学マウイカレッジ学長、複数のハワイ拠点の組織や企業）が日本を訪れました。

5月20日、一行は災害科学国際研究所を訪問し、当研究所の小野裕一副所長・教授（2030 国際防災アジェンダ推進オフィス）、ヌイン・デビッド特任准教授（津波工学研究分野）、井内加奈子准教授（レジリエンス計画研究分野）、マリ・エリザベス准教授（国際研究推進オフィス）が、東北の災害復興に関するプレゼンテーションを行いました。加えて、仙台市、ウェザーニューズ、パシフィックコンサルタンツ、東松島市の福田産業の代表者らが情報提供を行いました。ハワイ代表团はその後、宮城県および福島県の津波被災地を視察しました。

4日目には東京で、アメリカ大使館および日本外務省も参加してワークショップが開催されました。ワークショップでは、再建プロセス中のコミュニティのニーズを特定し、優先すべき活動を議論するグループディスカッションが中心となり、ハワイと日本の将来の協力についての議論で締めくくられました。また、ヌイン・デビッド特任准教授が、東北大学を代表して本ワークショップの運営に携わりました。



災害研でのワークショップの様子



記念撮影（ハワイ代表团・災害研・仙台市）



東京でのワークショップにて

文責：ヌイン・デビッド（津波工学研究分野）